

建設水道委員会

四月十五日(火)～十八日(金)
 ○木造住宅耐震化事業について
 (神奈川県綾瀬市 八万一九六六人)

国の住宅建物の地震防災推進会議で十年間の住宅耐震化率を九割とする目標が提言されたことや、綾瀬市の地域住宅計画に基づき、地震に対する市の安全性の向上と被害を最小限に抑えるため、既存木造住宅の耐震改修工事を行う市民に補助金を交付している。



建設水道委員会の視察(三島市)

○水道料金等徴収業務委託について(静岡県三島市 十一万二五七九人)

同業務委託については、水道事業を職員により実施していたが、民間活力の導入を図り、収納率の向上及び効率的な業務運営により、更なる経営の健全化を図るため、水道料金徴収業務の民間委託を平成十八年四月一日から実施している。また、コンビニでの支払いも可能となったことから、納付時間や、納付場所の拡大等により、市民の利便性向上、事務の改善が図られていた。

○氾濫防止のための二層構造河川について(栃木県宇都宮市 五十万七〇〇二人)

釜川は延長七・三キロメートル、流域面積六・四平方キロメートルの一級河川で、市の中心部を流れていることから、昔から市民の生活とも深い関わりを持っていた。上流の開発が進み、釜川への流入量が増加し、市街地の氾濫が度重なったことから、放水路の建設、二層構造化事業、水辺環境整備等を進めることにより、現在では市中心部での氾濫は治まり、市民のやすらぎと潤い、ふれあいの水辺空間として再生されていた。

総務文教委員会

四月二十三日(水)～二十五日(金)
 ○リファイン建築(増改築)の導入について(福岡県八女市 四万二三六九人)

従来の大規模改造とは異なる、大胆な意匠の転換や用途変更、耐震補強を実施し、老朽化した建物を全く新しい建物として蘇らせる建築システムであるとの説明を受けた。柱や梁、基礎などの構造部分を残して解体、建築コストや建築廃材の量を大幅に削減できる「環境に優しい建築」としての導入とのことであった。また、施工に当たり産業廃棄物排出量の抑制について、近隣の大学との研究・連携をとっている。

○スポーツによる地域活性化等について(大分県別府市 一二万一七五五人)

温泉数日本一の別府市は、観光地として知名度が高く、また、サッカー・バスケットの合宿誘致等、地の利を最大限に活かす様々なまちづくりに取り組んでいる。市民憲章に
 ◎美しい町をつくりましょう。
 ◎温泉を大切にしましょう。
 ◎お客さまをあたたく迎えましょう。
 とあり、地理的な条件によるもの

以外の面でも、取り組んでいる。



総務文教委員会の視察(別府市)

○萩まちじゅう博物館等について(山口県萩市 五万七〇七九人)

「萩は日本のふるさと」と銘打ち、地域共通の地域特性を活かした豊かな「自然」、すばらしい「歴史」と「文化」を尊重し、萩のまち全体を屋根のない博物館として、住民全体を巻き込んだ取組がなされている。市民主体のNPOの収益も、年々増加傾向にある。また、観光客や市民から寄せられた信託金により、萩の文化遺産を大切に保存・活用し、萩にしかない宝物を次世代に伝えていこうとする「ワンコインラスト運動」も、順調に機能し始め、民家等の修復も実施しており参考になった。